

マテリアリティ(重要課題)

プロテリアルは、ESG課題を強く意識した事業活動を一層加速させていくために、当社が注力すべきマテリアリティ(重要課題)を特定し6つのカテゴリーに分類しています。また、各マテリアリティに関連する施策や重要管理指標を整理し、各マテリアリティに関連するSDGsのゴールを示しています。

全てのマテリアリティは、当社Values「至誠」に基づき実践されるとともに、各々Values「夤則彊」やVision「持続可能な社会を支える高機能材料会社」の具体的な経営施策と位置づけられています。さらに、全てのマテリアリティに対する取り組みを継続的に改善し深化することで、当社Mission「質の量産」を具現化します。

プロテリアルのマテリアリティー一覧

マテリアリティ	内容	関連する外部環境変化(機会とリスク)	関連するSDGs
 環境	脱炭素社会実現への貢献 当社Vision「持続可能な社会を支える高機能材料会社」の下、温室効果ガスの排出量が実質ゼロ(カーボンニュートラル)となる社会の実現に向け、製造活動やエネルギー利用における排出の削減を通じた貢献を行う	機会 気候変動の深刻化に伴う顧客・サプライヤー・政府等のカーボンニュートラル推進機運の高まり等 リスク 温室効果ガス排出に関する規制の強化、エネルギー需要増・地政学リスクによるクリーンエネルギー価格の上昇等	   
	省資源・リサイクル・環境親和型製品の拡大 当社Vision「持続可能な社会を支える高機能材料会社」の下、省資源・リサイクルを推進するとともに、環境課題解決に資する製品を設計・提供することで、持続可能な社会の実現に貢献し続ける	機会 顧客業界での環境取り組み推進による環境配慮型製品市場の拡大、廃棄物削減・リサイクルの推進機運の高まり、新素材技術の発展等 リスク リサイクル資源需要増、レアメタルの獲得競争、地政学リスク等による資源価格の高騰・調達困難等	 
 社会	安全と健康をすべてに優先させる 「安全と健康はすべてに優先する」という行動原則を徹底し、社員とその家族のみならず、自社と関わる地域社会、取引先を含めたステークホルダーの心身を守ることを最優先に行動する	機会 危険業務のロボットへの代替技術発展等 リスク 人材獲得競争の激化による後継者不足、感染症の流行、自然災害の発生等	 
	多様な個を変革と成長の推進力にする 当社Values「夤則彊」の下、社員一人ひとりをお互いに尊重し、それぞれがやりがい・信頼感・愛着を持って働くことができる職場づくりに努めることで、共同して成果を出すチームを実現する	機会 人材獲得競争の激化による働き方改革の重要性・社会的機運の高まり等 リスク 人材獲得競争の激化による人材不足等	
 ガバナンス	品質をストロングポイントにする お客様に高い品質を安定してご提供するために、品質保証問題の再発防止策を徹底的に実行し、品質を他社と差別化された当社グループの強みとする	機会 品質保証に対する社会からの関心の高まり、内部不正対策等に関する技術の進化等 リスク —	 
	外部環境変化を先取りするビジネスモデル・プロセス進化 目まぐるしく変わる外部環境を先取りし、製品・サービスの提供価値、材料調達や生産方法を含め企業運営の在り方を柔軟に変化させていくことで、社会からの要請に応え、社会から必要とされる企業であり続ける	機会 顧客からの外部環境変化への強靱性に対する要請増大(安定供給等)、関連技術の発展(新素材、研究開発技術等)等 リスク 地政学リスクの増大、感染症の流行、自然災害の発生等	